



印西市立印西中学校

# 自立貢献

学校だより

令和7年12月12日発行

No. 10 発行者 坂野 峰子



いじめ・体罰相談窓口：宇井・木島・川本・山本達・大川・新村・和田・教頭・校長  
セクハラ相談窓口：新村・綿貫・高木・木島・宇井・和田・教頭・校長



## 人権週間～「誰かのこと じゃない～<法務省キャッチコピー>

12月4日(木)から12月10日(水)までの1週間を『第77回人権週間』と定め、全国各地で多数のイベントが実施されていました。

本校でも、1年生を対象に11月10日(月)に「人権教室」を開催しました。今年も人権擁護委員の方2名をお招きし、人権作文コンクールで入賞した作品、『立ち止まる』という人権啓発ビデオを視聴しました。『立ち止まる』では、いじめにあった筆者の経験から、行動や発言の前に一度立ち止まって考えることの重要性、想像力を働かせること、発する言葉や行動の責任について考えるものでした。また、人権をテーマとした全校一斉道徳(全学年同じ内容)を2回実施しました。人権意識や人権感覚を高め、子どもたちには「自分のこと」として捉え、互いに思いやり、助け合い、仲間とともに様々なことを成し遂げられる、そんな子どもたちに成長してほしいと願い取り組んでいます。

「人権」は、日常の様々なところに存在しています。家庭教育の中でも「人権」について話題にし、子どもたちの人権意識、人権感覚を育んでいただければと思います。

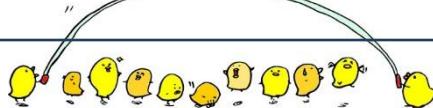
### ～人権教室・生徒の感想より～



言葉との向き合い方を改めて考えさせられるようなお話しでした。言葉は、発したら2度ともとには戻らないものということも、とても重いことだということも実感しました。「言葉は乱暴なものになるし、時には温かい毛布のようなものになる」という発言が心に残りました。そして、当事者の子が言っていたように「発言する前に1度立ち止まってみる」ということを私も意識して、これから的生活に生かしていきたいと思いました。 I. M

言葉は、時には猛毒になり、時には毛布のように柔らかくなるということを実感しました。世の中には、人の見た目が少し違うだけで馬鹿にしたり、いじったりする人がいることを聞いて、僕はとても悲しくなりました。今回の「人権教室」を踏まえて、言葉を発する前にしっかりと立ち止まって、考えてから言葉を発してみようと思います。 N. K

言葉一つで心が救われたり、逆に辛くなったりと、言葉の重さを再認識することができる機会でした。自分も無意識に人が嫌な思いをするようなことを言ってしまう可能性もあるので、相手の気持ちを考えたり、自分が言われたらどう思うかを考えたりした上で発信したいと思います。人権啓発ビデオでは、主人公の気持ちが伝わってくるとてもいい内容でした。主人公のような思いをする人が減るように話しを聞いてあげるなど、自分にできることは、自分からしていけるようにします。 H. M



今回、「人権教室」という場を設けていただいたことで、「人権」とは、誰もが生まれ持った人としての権利だということ、人権侵害によってどんなことで悩んでいる人がいるのかを、この時間を通して改めて理解できました。人権教室で学んだことを心に留め、これから出会うたくさんの人たちにも寄り添って接することができるようにしていきます。

J.S

最後に人権擁護委員の方が、『ひとつのことば』を朗読してくださいました。紹介します。

ひとつのことばを	美しい心	やさしいことは	きれいな心	ひとつのことばは	それぞれに	ひとつのことばは	たのしく笑い	ひとつのことばで	頭が下がり	ひとつのことばで	なかなおり	ひとつのことばで	けんかして	ひとつのことばで	けんかして
ひとつのことばを	大切に	やさしい心	きれいな心	ひとつのことばを	持っている	ひとつのことばを	泣かされる	ひとつのことばで	心が痛む	ひとつのことばで	頭が下がり	ひとつのことばで	なかなおり	ひとつのことばで	けんかして

『ひとつのことば』 北原 白秋



<1年生人権教室>



<全校一斉道德>

1948年(昭和23年)12月10日、国連総会で、「世界人権宣言」が採択されたのを記念し、1950年(昭和25年)に「人権デー」を定めました。日本では、1949年(昭和24年)、12月4日から12月10日を「人権週間」と定めています。

法務省では、次の18事項を「啓発活動強調事項」として掲げています。

- (1)女性の人権を守ろう
- (2)子どもの人権を守ろう
- (3)高齢者の人権を守ろう
- (4)障がいを理由とする偏見や差別をなくそう
- (5)部落差別(同和問題)を解消しよう
- (6)アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう
- (7)外国人の人権を尊重しよう
- (8)感染症に関する偏見や差別をなくそう
- (9)ハンセン病患者・元患者やその家族に対する偏見や差別をなくそう
- (10)刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見や差別をなくそう
- (11)犯罪被害者やその家族の人権に配慮しよう
- (12)インターネット上の人権侵害をなくそう
- (13)北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- (14)ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- (15)性的マイナリティに関する偏見や差別をなくそう
- (16)人身取引をなくそう
- (17)震災等の災害に起因する偏見や差別をなくそう
- (18)ゲノム情報(遺伝情報)に関する偏見や差別をなくそう

